

2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

特定非営利活動法人 山元・あしたの響き

1 事業の成果 及び 特定非営利活動に関わる事業に関する事項

2015年4月に当法人が山元町の里山・深山の頂上に建立した鎮魂の鐘には、酷暑の夏場を除けば、今年も多くの来訪者があり、鐘を鳴らして大震災の犠牲者への祈りを捧げる姿が見受けられた。

一方、深山自然遊歩道や潮風みちのくトレイル山元町ルートへのハイクを楽しむ人々のための登山道整備・景観維持などの作業も当法人により例年通り滞りなく行われた。

(1) 深山鎮魂の鐘の運営に関する事業

- a. 昨年通り、特に催事として行ったものではないが、2024年3月11日(月)、午前10時より鎮魂の鐘に「3.11 追悼の鐘を鳴らそう」の垂れ幕に加え、元旦早々に発生した能登半島地震と津波による犠牲者への祈りのための垂れ幕「能登半島へ祈りを」も下げて訪問者の祈りを促した。また午後2時46分の町のサイレンに合わせて、居合わせた仲間やハイカーと鐘を鳴らして黙祷を捧げた。



- b. 深山鎮魂の鐘の広報活動として《ブログあしたの響き》の更新を59回行い、グーグルマップ上に載せた深山鎮魂の鐘への写真の掲載も増やし、訪れるハイカーの利便性を高めた。

(2) 深山鎮魂の鐘と歌碑の維持管理、深山頂上からの展望の維持改善、並びに深山各登山道等のメンテナンス等に関する事業

- a. 雨や強風の後の各コースの見回り、倒木処理や刈払い作業、並びに頂上や尾根道の景観改善作業等を随時行い、別表(A)の通り、出動回数38回、延べ時間で63時間に及んだ。

※写真は刈払い作業等の1例



- b. 鐘の引き綱が切れることによる補修及び交換、吊天井部の装飾用トリカルネットと風化した造花の撤去、歌碑の補修等、別表(B)の通り、回数にして9回、延べ時間16時間半行った。また鎮魂の鐘に設置した募金箱(厚情の箱)の回収は3回行った。



(2) 他の団体との協同活動等

- a. 特に目立った活動はなかったが、深山自然観察路の管理者の町生涯学習課とはその都度連絡をとり合い、観察路の危険木等の管理に当たったほか、4月26日には、同生涯学習課施設設計画班の班長の来訪を受け、深山山麓少年の森の大規模な改修工事に当り、道標等についての意見を求められて協力。

2 その他の事業の実績

本年度もその他の事業は一切行わなかった。

3 実施体制等に関する事項

- (1) 会計監査：2023年4月25日午後、事務局において、監事2名により、2022年度の会計監査が行われ、すべての会計業務について疑義の無いことが確認された。
- (2) 総会：2023年4月29日(土)13時30分より、つばめの杜ひだまりホール2階6号室で。
出席者数：正会員総数17名中10名出席
・議事内容 a.2022度事業報告・決算報告の承認、及び監査報告
b.2023度の事業計画・活動予算の承認
- (3) 理事会：本年度は行わなかった。
- (4) 会員に関する事項：2023年度末現在、正会員17名、個人賛助会員21名、団体賛助会員5名
- (5) 役員に関する事項：監事2名、理事8名、理事長 長岡久馬、副理事長 砂金良宏
- (6) 情報発信体制に関する事項：

a. 《ブログ あしたの響き》<https://blog.canpan.info/asitano-hibiki/>



b. 深山鎮魂の鐘イメージソング《ああ 深山の鐘》



c. Facebook

<https://www.facebook.com/np0.asitano.hibiki>

以上